



太田川河川事務所

ゴギ GoGi通信

No.123

災害から暮らしを守るために

防災フェア in マツダスタジアム & エディオンスタジアム



地震の揺れでこけるスライリー!!



土石流模型実験で勉強中!!



防災について楽しみながら学べました!



浸水脱出体験機! ドアは開くかな?



降雨体験機でゲリラ豪雨を体験したよ!



太田川河川事務所では、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島協力のもと、6月22日にマツダスタジアム、7月13日にはエディオンスタジアムで防災フェアを開催しました。

防災フェアでは、ゲリラ豪雨を体験できる「降雨体験機」や浸水時にドアがあかなくなる状態を体験できる「浸水脱出体験機」などを展示し、災害時の状況を疑似体験していただきました。

また、過去の水害や太田川河川改修の歴史を紹介するパネル展示を行うとともに砂防堰堤が土石流を防ぐ仕組みを体験できる「土石流模型実験」を展示しました。

当日は両会場ともに、試合開始前や試合中に多くの方に参加いただき、体験コーナーでは約1,000名の方が、土石流模型実験は約500名の方が参加されるとともに、パネル展にも多くの方が来場されました。

降雨体験をされた方からは「こんな雨で子供を外で遊ばすと怖いですね。」という声も聞かれました。

なお、マツダスタジアムでは広島東洋カープの球団マスコットであるスライリーも飛び入りで参加してくれ、来場者からは一段と大きな歓声が上がりました。

みんなで防災に対する意識を高めていこう!!



もしもの時の備え

さまざまな点検を実施しました。

〈陸上部における「安全利用点検」の実施〉

河川の利用が増加すると予想されるゴールデンウィークを前に、安心・安全に河川を利用していただくという観点から、河川利用者の方々が多く利用される箇所を選んで安全利用点検を事務所職員と警察署、消防署、地方自治体、水辺の楽校協議会等の関係機関と連携し、4月16日から24日にかけて実施しました。

点検の結果、階段のコンクリートの破損、ベンチの老朽化等、問題のあった箇所については、連休前の4月26日までに対策を実施しました。



▲安全利用点検実施の様子



▲出水期前堤防点検実施の様子

〈出水期前堤防点検の実施〉

太田川河川事務所では、梅雨及び台風などの出水期に備えて、河川堤防等の「出水期前点検」を4月から6月にかけて実施しました。

点検は、太田川および小瀬川等の国管理区間の堤防区間において、災害の未然防止に資することを目的として、河川管理施設の異常を早期発見し、緊急に補修等すべき箇所及び出水期間中に経過観察が必要な箇所を抽出するために実施しています。

また、点検により得た情報については、今後の維持修繕等の河川管理資料として活用を図っていきます。

日頃からの反復訓練

「排水機場の試運転(排水訓練)」と「出水期前の「排水ポンプ車・照明車」の操作訓練を実施しました。」

太田川河川事務所では、毎年、台風など出水期に備えて、広島市安佐北区口田地区に設置している矢口川排水機場の「試運転(排水訓練)」を行っており、今年も、5月23日に実施しました。

訓練は、連絡体制・燃料供給等の方法、ポンプの操作手順の確認を行い、最後に実際にポンプを稼働させ、矢口川から太田川に「排水」することにより設備の稼働状況に問題ないことを確認しました。



▲排水機場の試運転の様子

また、太田川河川事務所では保有している「排水ポンプ車・照明車」について、今年も6月10日に広島市安佐南区可部1丁目の根谷川右岸で訓練を実施しました。

訓練内容は、実際の洪水を想定し、樋門を閉じて宅地側の水路に溜まった水を排水ポンプ車により川側へ排水する訓練及び夜間における排水操作を想定した照明車の操作訓練を行いました。

今後も有事の際には、迅速な操作が行えるよう、日頃から反復した訓練を実施していきます。



▲排水機場の試運転の様子

防災体制の強化

洪水対応演習を実施しました。

太田川河川事務所では、梅雨・台風等による風水害が発生した際に、地域の方が的確に判断・行動できるよう、迅速かつ正確な情報の収集を行い、わかりやすく伝達することを目的として、6月14日に洪水対応演習を実施しました。

堤防の決壊により被害が発生した想定等での情報伝達演習、排水機場や排水ポンプ車の運転を想定した内水対策の対応演習、管内の各関係機関との情報収集・伝達演習などを行いました。

今回の演習で明らかになった課題を改善し、さらなる防災体制の強化に努めてまいります。



チームワークが大切なんだね。



▲洪水対応演習の様子

河川・砂防事業の進捗

あさひが丘5号砂防堰堤が完成しました。🐟🐟

広島市安佐北区のあさひが丘地区では13基の砂防堰堤を計画し平成22年度から工事に着手しています。このうち、平成25年5月29日にあさひが丘5号砂防堰堤が完成しました。あさひが丘5号砂防堰堤は、当地区で3番目の完成となります。

太田川河川事務所では平成11年6月29日の土砂災害を契機に、広島市、廿日市市、大竹市にまたがる地域で広島西部山系直轄砂防事業を実施しており、今後も各地区に計画している砂防堰堤の早期完成に努めてまいります。



あさひが丘 5号砂防堰堤

H = 9.5m
L = 42.0m



床上浸水対策事業15地区の工事を完了しました。

観測史上最高水位を記録した平成17年9月の台風14号による床上浸水被害を契機に、平成19年度から太田川中流域で堤防の築造など、広島市安佐南区から山県郡安芸太田町の区間の18地区において床上浸水対策事業に取り組んできました。

このうち、小河内地区(広島市安佐北区安佐町)や下殿河内地区(山県郡安芸太田町)などの15地区については、地域の皆様のご協力により、平成24年度末までに工事を完了しました。

また、中組地区(広島市安佐北区安佐町)、脇田地区(広島市安佐北区安佐町)について、平成25年度より工事に着手する予定であり工事の早期完成に努めてまいります。



みんなが
安心して暮らせる
街をつくってね!

姫瀬・毛木地区



▲姫瀬・毛木地区の床上浸水対策事業の様子

下殿河内地区



小河内地区



▲床上浸水対策事業の様子

土砂災害について学ぶ

呉市で「土砂災害防止県民の集い」開催

平成25年6月7日(金)に呉市広市民センターにおいて、広島県と呉市の主催で「平成25年度土砂災害防止県民の集い」が開催され、呉工業高等専門学校^{の加納准教授}による基調講演のほか、災害に強いまちづくりの事例紹介などの講演が行われました。

太田川河川事務所からは、土砂災害に関するパネルと土石流3D体験シアター、土石流模型実験装置を出展しました。

呉市は、平成11年6月の梅雨前線による豪雨で土砂災害が発生し、甚大な被害を受けた経緯もあり、会場には約340名の方が来場され、関心の高さがうかがわれました。



▲土石流模型実験の様子

水害への備えを万全に 水防技術習得訓練の実施

平成25年5月26日(日)に広島市安佐南区川内の太田川河川敷において、安佐南消防署主導で安佐南区水防技術習得訓練が実施されました。訓練では主に地元消防団及び自主防災組織が参加し、安佐南消防署の指導のもとで土のう作り・積み土のう・シート張りなど各種水防工法の実技を行いました。太田川河川事務所は中州で逃げ遅れた人の救助訓練に参加し、河川巡視より要救助者の発見及び消防への通報を行い、通報により駆けつけた消防のヘリコプターによる要救助者の救助訓練が無事に実施されました。近年では日本各地において、記録的な豪雨やゲリラ豪雨が多発しており、出水期を迎えるにあたって水害への備えの重要性を再認識し、訓練が終了いたしました。



▲土のう作りの様子

▼シート張りの様子



H25
7/21

川と友達になろう!

「水辺の安全教室」で体験学習を実施!

みんなで集まって川の面白さや怖さを学びました!

平成25年7月21日(日)に三篠川^{かこがわ}「狩小川水辺の楽校」で73名の参加のもと太田川水辺の安全教室を開催いたしました。

この取り組みは、川の面白さや豊かさを知っていただくとともに、川の特性や危険を察知する感覚を身につけ、川を利用する際の安全意識の向上を目的として行っているもので、本年度で5回目の開催となります。

水辺の安全教室では、川の楽しさと怖さ、正しいライフジャケットの着用方法等を学んだ後、川での泳ぎ方や安全な流れ方、スローロープを使った救助方法などを体験しました。

参加された方からは、「川の中は恐かったけど、楽しかった」や「今度、勇気を出して家族で川に遊びに行ってみようと思う」など様々な意見が寄せられました。



川に入って、
流れを体感!



川で遊ぶときは
気を付けようね!

